伊豆分場開所式

平成30年1月に始まった現地建替工事により同年10月に新庁舎が完成、令和元年8月にはⅡ期工事により屋外飼育施設、ポンプ棟が完成し、これで発注業者による建替え工事が全てが終了しました。この間、関係者の皆様の御支援、御協力に感謝します。

Ⅱ期工事で完成した装置・機器は下記のとおりです。

- 屋外水槽：コンクリート水槽　50t（Φ5.3m）2面、FRP水槽　8t容×6面と2t容×14面
- 取水ポンプ：吐出量670L/分、5.5kwポンプ3台（必要に応じて1～2台の交互運転）
- 処理水揚水ポンプ：670L/分、5.5kwポンプ2台（交互運転）
- 処理海水高架水槽：24㎥（3m×4m×2m）を2器連結（有効18㎥×2）
- ブロアー：4.0㎥/分、5.5kwが1台（屋外水槽、屋内飼育実験室に通気）、1.20㎥/分、1.5kwが1台（処理海水高架水槽に通気）
- ろ過装置：処理能力40㎥/時間の自動逆洗砂ろ過機

9月13日、県や漁業関係者等25人が参加し、新庁舎開所式が当場会議室で行われました。志村信明・県農林水産担当部長から、最新の設備を最大限に活用し、地元の漁業振興に今後も貢献していきたいとの挨拶がありました。来賓を代表して森竹治郎県議会議員、佐藤泰一伊豆漁協代表理事組合長から御祝辞をいただきました。今後の業務の成果に期待を託され、職務邁進の決意を新たにしました。

Ⅱ期工事完成直後の伊豆分場

午後に開催した内覧会には、白浜地区の漁業者、近隣住民等が来場し、展示室、各実験室（飼育実験室にキンメダイ、カタクチイワシ、アサヒガニ、イセエビプエルルスを収容）、屋外展示水槽（イサキ、マアジ、イナダを収容）、を見学していただきました。

（川合範明）